「細胞アレイ等による遺伝子機能の解析 技術開発プロジェクト」

事後評価第1回分科会 資料7-2

研究開発項目毎の成果

・デバイス関連技術開発

•<u>時系列解析技術開発</u>

·応用研究

事業原簿 31頁



課題: 時系列測定·解析技術開発

産業技術総合研究所・生命情報工学研究センター

中津井雅彦、油谷幸代、富永大介、堀本勝久、浅井潔 京都大学·化学研究所

阿久津達也

東京大学·工学部

徳元康人、袴田知巳、三宅淳

<u>目標:</u>

生きた細胞内での刺激応答リン酸化cis-element活性化パスウェイ の構造推定、動態解析、及びそれらの検証に基づく、創薬ターゲット の絞り込み技術を、産総研・CBRC、東大・三宅研、京都大学と連携 し、開発する。

実施計画:

東大・三宅研が撮像した時系列画像データを数値化し、その数値 データに基づき、活性化パスウェイを定量的に推定する技術をCBRC が開発し、さらにその結果に基づき創薬ターゲット絞り込みにつなが る検証及び拡張技術を、CBRCと京都大学と連携して開発する。 ^{事業原簿 31頁} 2/27



背景→解析対象→技術課題



(方針) 既知パスウェイ 結果が確実に予測されるパスウェイ 技術の精度向上

公開

(問題点)

- 転写因子活性化の可視化が困難
 (①微蛍光時系列計測・イメージング(数値化)技術)
- 計測分子が限定 (②非計測分子を含むネットワーク動態解析)
- (出口)
- ・候補パス(ウェイ)
- ・併用剤効果の定量評価

(進展)

- ・ 複雑なリン酸化カスケード
- (③計測データに基づく活性化ネットワーク推定技術) 4/27

実施計画概要





①微蛍光時系列計測・イメージング(数値化)技術

公開

Signal Transduction cis-Element Reporter System



①微蛍光時系列計測・イメージング(数値化)技術

公開



要素技術実証 受素技術実証 bFGF刺激に応答するリン酸化ネットワーク転写制御因子



•転写因子リン酸化パスの定性的重みづけ

 $k_{\rm ERK} > k_{\rm JNK} > k_{\rm p38}$

要素技術実証 空素技術実証 ^{公開} bFGF刺激に応答するリン酸化ネットワーク転写制御因子

時系列画像数値化データの統計比較

◆各時点での細胞輝度の平均と標準誤差 の算出

◆平均輝度のZ testによる各時点の輝度 の検定

$$T = \frac{\left|AV^{C} - AV^{E}\right|}{\sqrt{\frac{VAR^{C}}{N^{C}} + \frac{VAR^{E}}{N^{E}}}} \sim N(0,1)$$

◆Z testによる確率のFisher's C testによる 時系列輝度の検定

$$C = -2\sum_{i=1}^{k} \ln(p_i) \sim \chi^2_{df=2k}$$





②非計測分子を含むネットワーク動態解析技術 ^{公開} 問題点



公開 ②非計測分子を含むネットワーク動態解析技術 アイディア

制約条件を追加し、 反応パラメータの自由度を制限する



誤差関数

Differential Elimination

François Boulier, Differential Elimination and Biological Modelling, Johann Radon Institute for Computational and Applied Mathematics (RICAM) Book Series. Volume 2, pages 111-139. 2007.



Universal Academy Press JPYen10,000



LNCS 4545 from *Springer* 52,00 €



LNCS 5147 from Springer 45,00 €

Algebraic and Numeric Biology

Algebraic and Numeric Biology 2010 RISC, Castle of Hagenberg, Austria, July 31 - August 2



②非計測分子を含むネットワーク動態解析技術 ^{公開} Differential Elimination (DE)

- Rosenfeld-Gröbner
 - 微分を含む代数に関する理論
 - 微分方程式系を、他の等価な方程式系へと書き換える
- 例(Ritt Reduction)



事業原簿 40頁

②非計測分子を含むネットワーク動態解析技術 ^{公開} DEによる等号制約



②非計測分子を含むネットワーク動態解析技術
DE等号制約の算出

$$k_{21}^{-1}, k_{31}^{-1}, k_{41}^{-1}, k_{e1}^{-1}, k_{e2}^{-1}$$

 $+a_{1}^{-1}, k_{21}^{-1}, k_{41}^{-1}, k_{e1}^{-1}, k_{e2}^{-1}$
 $+a_{1}^{-1}, k_{21}^{-1}, k_{41}^{-1}, k_{e1}^{-1}, k_{e2}^{-1}$
 $+a_{1}^{-1}, k_{21}^{-1}, k_{e1}^{-1}, k_{e2}^{-1}, k_{e2}^{-1}, k_{e2}^{-1}, k_{e3}^{-1}, k_{e3}^{-1}, k_{e3}^{-1}, k_{e2}^{-1}, k_{e3}^{-1}, k_{e3}^{-1},$

15/27

②非計測分子を含むネットワーク動態解析技術 公開 DE等号制約の評価

 C_t (サンプリング時刻tにおける制約条件の値)

$$C = \sum_{t=1}^{T} (C_t)$$
 DE Constraints

 $\exists \exists \mathfrak{C}_{t} = |C_{1,t}| + |C_{2,t}| + |C_{3,t}| + |C_{4,t}|$

Cは反応パラメータ(k₂₁, k₃₁, k₄₁, k_{e1}, k_{e2})の関数である

真の反応パラメータ及び時系列データ、導関数が与えられたとき、C=0である



16/27





パラメータ推定精度の比較



18/27

▶より複雑なモデルへの対応 → Dr. Boulierグループ(Lille Univ., France)と共同研究
 ▶実問題への適用 → 九大・生防研、韓国科学院と共同研究

②非計測分子を含むネットワーク動態解析技術 公開 シミュレーション 2





新規開発手法 (標準誤差関数+DE Constraints)















RCGAs symbolic-numeric method

19⁄27





③計測データに基づく活性化ネットワーク推定技術 ^{公開} ネットワーク補完技術

現在のネットワークに最小の修正を行って実験結果と一致するようにする



事業原簿 46頁

Proc. of the 20th International Conference on Algorithmic Learning Theory, 2009
 Proc. of IBSB2010, 2010

③計測データに基づく活性化ネットワーク推定技術 ^{公開} ネットワーク補完技術

二種類の補完

- 頂点のバイパス(ノイズが多すぎる場合)
- 辺の追加(新たな関係の追加)



③計測データに基づく活性化ネットワーク推定技術 公開 ネットワーク補完技術



まとめ



刺激応答リン酸化cis-elementに関して、 生きた細胞内で活性化ネットワークの同定 を可能にする新要素技術を開発した。



公開 要素技術に基づく解析ソフトウェア

1.「細胞組織の連続動画画像情報からの高精度 特徴抽出システム

2. 「Cell Array KNIMEワークフロー」

KNIME化よる解析の可視化と利便性の向上

Lipinski's Rule-o -•

KNIME化よるChem-Bio解析への拡張



事業原簿 45頁

配布: k.horimoto@aist.go.jp

26/27





成果

>特許 2
>論文 97
>学会発表・講演 78

実用化可能性

①細胞組織の連続動画画像情報からの高精度特徴抽出システム

・多重閾値の設定等の微弱蛍光を捉えるアルゴリズムは新規性があり一般的なものである ため、<u>計測機器付属の既存ソフトウェアへの組み込みにより市場化が可能な段階にある</u>。 ② Cell Array KNIMEワークフロー

・数理解析に不案内な利用者の利便性を考慮して、KNIMEによって可視化と各解析段階の コンパートメント化を実現した。これにより、利用者は複雑な解析を、可視化された手続きに 沿って容易に実行できる。これらのソフトウェアは、コンピュータのOSに依存せず通常のPC に実装可能であり、提供が容易である。

・動態解析ソフトウェアは、採用した既存技術の一つであるDifferential Eliminationが実装されているMapleソフトへの組み込みを計画している。

事業原簿 45頁

27/27